



# 効率的な働き方を実現するための施策 ～3つの柱と7つのテーマ～

## 施策の柱と取組テーマの選定

**効** 率的な働き方を目指す施策の柱には、「休日の確保」「労働時間の把握と「ムダ」の削減」「働き方・休み方を改善するための環境づくり」の3つがあります。

効率的な働き方を考える際には、どうしても休日と労働時間に考えがいきがちです。しかし、単に休日を増やしたり、残業時間を削減することだけを目的にしてしまうと、現場の仕事に無理が生じ、サービスの「質」の低下や、取組の形骸化が起こり、従業員の負担が増えてしまうことにもなりかねません。このようなことを防ぐためにも、まずは、③「働き方・休み方を改善するための環境づくり」をしっかりと行い、「休める」環境をつくった上で、①「休日の確保」や、②「労働時間の把握と「ムダ」の削減」の取組をすすめることが大切です。

3つの柱の中には、具体的な取組の目標を7つのテーマとして整理しました。まずは自社の現状や問題意識、優先順位をしっかりと把握した上で、全てのテーマを実施することではなく、自社に合ったテーマを従業員の声や経営課題をもとに選定しましょう。

各テーマの中には、これらの目標を実現するための具体的な施策例を記載しています。取組テーマを決めたら、これらの施策例をヒントに、具体的な取組施策を検討しましょう。

効率的な  
働き方の実現



若者にとって  
魅力ある業界に！

### 3つの柱と7つのテーマ

1

#### 休日の確保

##### テーマ1 休日を確実に休む

- 休館日の拡大設定
- 休日を前提としたシフト設定
- 連続休暇の設定推奨 ● ユニークな休暇制度

##### テーマ2 年次有給休暇以下、有給休暇というを取得する

- 有給休暇を取得しやすい職場環境づくり
- 「年次有給休暇の計画的付与制度」の活用
- 有給休暇カレンダーの活用
- 休日+有給休暇で「旅行体験」

2

#### 労働時間の把握と「ムダ」の削減

##### テーマ3 労働時間を把握する

- 労働時間把握の仕組み導入
- 業務ごとの所要時間の記録

##### テーマ4 「ムダ」の削減

- 管理職の教育
- 現場との実態の共有と話し合い
- 残業抑制施策の展開
- 業務繁閑予測に応じたシフト設定
- 1年単位の変形労働時間制の上手な活用

3

#### 働き方・休み方を改善するための環境づくり

##### テーマ5 業務改善

- ムダな業務の削減
- サービスの見直し

##### テーマ6 応援体制の整備

- マルチタスク型人材\*の育成

##### テーマ7 経営改革

- 生産性の向上
- 組織体制の見直し
- 休憩環境の整備

\*ここでは、マルチタスク型人材=複数のタスク(仕事)をこなせる人材のことを意味します